

都道府県名	徳 島 県
-------	-------

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	板野郡藍住町立藍住中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	5	5	6	1	17	33
生徒数	193	183	228	3	607	

## 研究の概要

### 1. 研究主題

「確かな学力」の向上を目指して 個に応じた指導の在り方の研究
-----------------------------------

### 2. 研究内容与方法

#### (1) 実施学年・教科

- \* 1年生・数学 数学における基礎・基本の確実な定着を図るため。生徒の理解度に差が生じやすい教科であるため。
- \* 2年生・英語 H14年度からの本校の取り組みの継続から生徒の理解度の差が生じやすい教科であるため。
- \* 3年生・数学 H13年度からの本校の取り組みの継続から生徒の習熟度に差が生じている教科であるため。
- \* 全学年共通・S Lタイム (self - learning time) 規則正しい生活習慣や学習習慣を身につけるため。

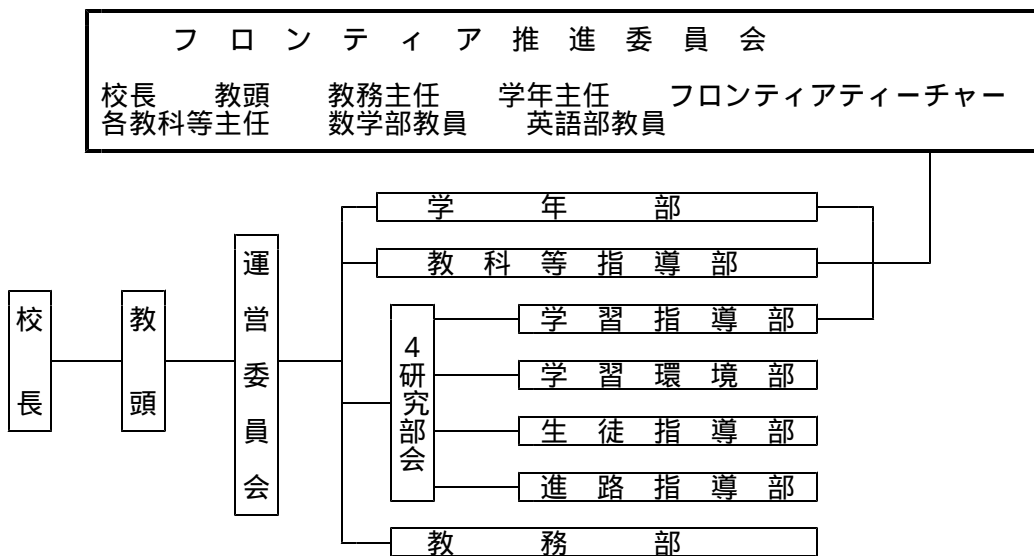
#### (2) 年次ごとの計画

平 成 15 年	<p>テーマ 「確かな学力」の向上を目指して 個に応じた指導の在り方の研究</p> <p>研究の見通し（仮説） 生徒の実態にあった教育課程を編成し、個に応じるための指導体制を充実させ、分かる授業の展開を目指す個に応じた指導方法を工夫することにより、基礎・基本の定着と「確かな学力」の向上を図ることができるとする。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生の5学級において、数学を1学級単位で均等に2分割して、少人数指導を実施した。</li> <li>・ 2年生の5学級において、英語を2学級単位で3分割、3学級単位で5分割して、習熟度別少人数指導を実施した。</li> <li>・ 3年生の6学級において、数学を2学級単位で習熟度別に3分割し、</li> </ul>
-------------------	---

度	<p>習熟度別少人数指導を実施した。 さらに、3分割したコースすべてをTT指導で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SLタイムとして、生活習慣や学習習慣の定着をねらいとして、3年生では基礎的な内容の復習を、1、2年生では基礎的な内容の復習と読書時間の二本立てで、時期を見て交替し変化を持たせた。</li> </ul>
---	---

平成16年度	<p>テーマ 「確かな学力」の向上を目指して 個に応じた指導の在り方の研究</p> <p>研究の見通し（仮説）</p> <p>生徒の実態にあった教育課程を編成し、個に応じるための指導体制を充実させ、分かる授業の展開を目指す個に応じた指導方法を工夫することにより、基礎・基本の定着と「確かな学力」の向上を図ることができるとする。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生の5学級において、数学を1学級単位で均等に2分割して、少人数指導を実施する。</li> <li>・ 2年生の5学級において、英語を2学級単位で3分割、3学級単位で5分割して、習熟度別少人数指導を実施する。</li> <li>・ 3年生の5学級において、数学を2学級単位で習熟度別に3分割し、3学級単位で習熟度別に5分割して、習熟度別少人数指導を実施する。さらに、分割したコースすべてをTT指導で実施する。</li> <li>・ SLタイムとして、生活習慣や学習習慣の定着をねらいとして、3年生では基礎的な内容の復習を、1、2年生では基礎的な内容の復習と読書時間の二本立てで、時期を見て交替し変化を持たせる。</li> </ul>
--------	--

(3) 研究推進体制



## 平成15年度の研究成果及び今後の課題

### 1. 研究成果

#### (1) 1年生・数学科

1クラスを2分割することにより、単に数量的に減っただけでなく、一人ひとりについての理解度を把握できるようになり、生徒一人ひとりにかける時間が確保できることから、個に応じた指導がしやすくなった。  
7月に実施したアンケート結果によると小学校での「算数」は「嫌い」と答えた者が33.2%。「好き」が37.9%に対して、中学校での「数学」は「嫌い」が14.5%。「好き」が51.4%となっていることから、指導体制が変わったことにより生徒自身の学習に対する興味、関心が増したと考えられる。大多数の生徒が「数学は少人数指導の方が良い」と答えており、その理由として、「分かりやすい。発表しやすい。楽しい。質問しやすい。集中できる。」と答えていることから、学習に対する意欲も増していると考えられる。  
毎年実施している方程式の小テストにおいても、過去3年間の3年生の4月のデータで平均60点前後だったのに対し、同じテストを実施したところ、平均68.1点と比較的高い値が得られた。

#### (2) 2年生・英語科

1クラスで行う授業に比べると、習熟の差の生じ方が小さくてすむので、生徒一人ひとりの理解度に応じて、指導しやすい。  
7月実施のアンケートでも、少人数指導について「満足している」と答えた者が、多かったうえ、昨年に比べると、学習意欲が増した。  
発展的な内容を扱うCコースでは、「話す力」に重点を置く時間がとれ、英会話を中心に学習の展開ができた。

#### (3) 3年生・数学科

習熟度別による少人数指導が変わったことで、各コースとも、習熟度の差はあるものの昨年度の一斉授業時に比べると、その差は小さくなっており、学習しやすい環境ができた。  
集団が変わることで、新たなリーダーが生まれたり、生徒自身の自信がついたりすることで、学習意欲が増した。  
各コース全てをTT指導としたので、生徒にとっては、ささいな質問もできるようになり、基礎・基本の確認と理解がしやすくなった。  
基礎を中心とするAコースでは、毎回の課題プリントにより既習の内容を復習しながら、教科書に沿ったプリントを作成しての授業展開をすることで、分かる喜びを感じていることから、学習意欲が高まった。  
7月実施のアンケート結果によると習熟度別少人数指導の形態には、ほとんどの生徒が肯定的にとらえており、少人数指導やTT指導が自分にあっていると答えた生徒が、A(基礎)コースで92.5%、B(標準)コースで82.4%、C(発展)コースで70.4%を占めており、どのコースもほぼ90%の生徒が自分の学習に役立っていると答えている。

#### (4) 全学年共通・SLタイム

登校の時間が早くなったにもかかわらず、朝の遅刻が減った。  
読書の時間を持つことで、静かな時間と1日の始まりの心構えや準備ができるようになり、基礎的な内容の復習によって、各教科の基礎・基本をおぎない、自ら学ぶ姿勢が育っている。また、読書や基礎的な内容の復習に飽きることをさけるために、定期的に交替したことも、生徒にとっては変化があり良かった。

### 2. 今後の課題

#### (1) 1年生・数学科

5学級を2分割することによる専門教員数の確保。  
やや遅れがちな生徒に対する指導についてのあり方。  
家庭学習の定着に向けての課題の与え方について。

#### (2) 2年生・英語科

TT指導の導入  
3年次への少人数指導の導入。  
3学級単位を習熟度別に5分割したときの同コースにおける教師間の共通理解と教材研究の時間の確保。

A L Tの先生の配置が各コースに入ることが困難である。  
発展的学習内容の工夫。

- (3) 3年生・数学科  
3学級を習熟度別に5分割したときの専門教員数の確保。  
生徒指導面を考慮したT T配置。  
発展的学習内容の工夫。

- (4) 全学年共通・S Lタイム  
学級文庫の充実

#### 学力把握のための学校としての取り組み

- ・標準学力検査(C R T)の実施  
(1・3年生 年1回 1学期に実施。)  
(2年生 年1回 3学期に実施。)
- ・校内における方程式のテストの継続 -数学科-  
H13年度より取り組んできた全学年共通の方程式小テストの継続  
(1・2年生 12月に実施)  
(3年生 4月と7月と1月に実施)
- ・少人数指導に関するアンケート調査 -数学科・英語科-  
(1・3年生 数学科 7月と1月に実施)  
(2年生 英語科 7月に実施)

#### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・7月3日(木)学校評議会にて本年度の本校の取り組みについて説明。
- ・1月15日(木)学校評議会にて本年度の取り組みの経過報告。
- ・2月「平成15年度 板野郡教育研究紀要」にフロンティアスクールとしての本校の取り組みを掲載予定。

- 
- 【新規校・継続校】     15年度からの新規校     14年度からの継続校
- 【学校規模】     3学級以下     4～6学級  
                   7～9学級     10～12学級  
                   13～15学級     16学級以上
- 【指導体制】     少人数指導     T・Tによる指導  
                   その他
- 【研究教科】     国語     社会     数学     理科  
                   外国語     音楽     美術     技術・家庭  
                   保健体育     その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】     有     無